

正しく理解して避難に役立てましょう。

防災情報



災害の危険がある場合、必要と認められる地域に出雲市から避難のための情報、避難勧告、避難命令(指示)を発表します。

防災情報の入手先

出雲市防災情報

<http://www.izumo-bousai.jp/>
電話・FAX 0853-24-8651

気象庁

<http://www.jma.go.jp>

国土交通省 防災情報提供センター

<http://www.bosai.joho.go.jp/>

国土交通省 道路情報提供システム

<http://www.its.go.jp/roadinfo/>

市が発表する 避難情報

みなさんの行動

伝達方法

防災情報

(避難準備情報も含む)

非常時持ち出し品を準備するとともに、避難所・避難経路を確認しましょう。また、防災情報や気象情報の収集に努めましょう。

防災行政無線
ケーブルテレビ
有線放送、広報車
ホームページ等

避難勧告

対象となった地域の方々は、指定された避難場所に速やかに避難してください。ただし、周囲の状況から、指定避難所まで行くことに危険を伴う場合は、近くの一時避難所へ避難してください。

(同上)
必要に応じて個別に
口頭伝達を行う。

避難命令(指示)

一刻も早く避難するか、避難する余裕のない場合には、生命を守る最大限の行動をとってください。

(同上)
必要に応じて個別に
口頭伝達を行う。

避難勧告、避難命令(指示)時には、サイレンを吹鳴します。
「サイレン吹鳴(1分間) → 休止(5秒)」を繰り返します。

大雨は急激に状況が変化するので要注意

大雨



梅雨期などは、雨が長期にわたって続きます。近年は、局地的な集中豪雨が発生することもあるため要注意です。

雨量と雨の降り方

1時間雨量	予報用語	災害発生状況
10~20 ^{mm}	やや強い雨	ザーザー降りの雨 地面には水たまりができます。
20~30 ^{mm}	強い雨	どしゃ降りの雨 側溝や下水があふれることがあります。
30~50 ^{mm}	激しい雨	バケツをひっくり返したような雨 がけ崩れが起きやすくなります。
50~80 ^{mm}	非常に激しい雨	滝のような雨 土石流災害が起きやすくなります。
80 ^{mm} 以上	猛烈な雨	滝のような雨 土石流災害が起きやすくなります。

こんなときどうする？

車の運転中は？

豪雨で視界が悪くなったり道路が冠水する危険も。ゆっくりと運転して高台へ避難。



河原では？

雨が降っていないくても上流部の雨の影響で急な増水や土砂災害がおこるかも。川には近づかずすぐに避難を。

